

笹徳印刷株式会社カレンダー2018年版 8月残暑見舞いカード 組立レシピ



1. 8月カードの展開図をダウンロードして出力する。

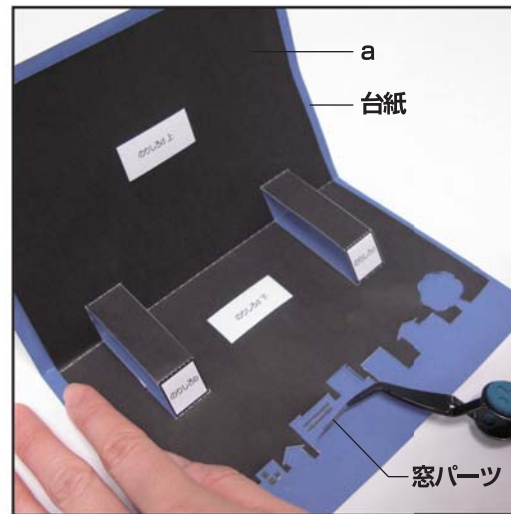
※このペーパークラフトは一般的な画用紙程度の厚みの紙で制作されると作りやすく、しっかりした仕上りになります。

〈注意事項〉
ダウンロードできる展開図に「線のみタイプ」がありますが、これはお好きな色を塗って頂けるタイプです。また、お好みの色柄紙を使用しても制作可能です。

※但し、色々なパーツをA4用紙に無駄なく配置しているため、お好みの色柄紙に、必要ないパーツも配置された状態で出力される場合があります。予め、ご了承ください。

※お好みの色柄紙をご使用の場合は、お手持ちのプリンターの取り扱い説明書に必ず従い、出力可能な色柄紙で出力を行ってください。

2. 展開図8月カードのカット線を全てカットする。



3. aのパーツの山折り線、谷折り線に気をつけて写真のように「のりしろb、c」等が手前に飛び出すように起こす。

※山折り線、谷折り線はゆっくり、あわてず、少しずつ折り、飛び出す部分を起こすと良い。

4. 3.でしっかり開けたり閉じたりできるようになったら、「台紙」の中心の折り目に合わせて3のaを貼り、一旦おいて置く。

※aを台紙に合わせるとき、左右の位置が均等な幅になるように気をつける。

※aの「窓」のパーツも左右上下の間隔を見ながら貼る。とても小さいので、先の細いボンドやピンセットを使うと良い。



5. dのパーツの「のりしろ上(表)」と「のりしろ下(裏)」にそれぞれ糊をつけてaの「のりしろ上、下」へ写真の状態になるように貼る。

※この時、dの「のりしろe、f」は、カード自体を閉じると折りたたまれた状態になり、カードを開くと羽を開くような動きになる。

6. 5のパーツが上手く動いたら、eとfの「のりしろ(裏)」に糊をつけて貼る。

※再度、eとfがカードを開くと同時に、開くかどうか確認する。

7. 6のあとに、gパーツをdの「のりしろg」に貼る。

8. 7のあとにaの「のりしろb、c」にbとcパーツを貼る。

※b、c、e、f、gのパーツは、「線のみタイプ」で作成される場合、お好みの色柄紙で構成できるようにバラバラのパーツになっています。「カラータイプ」もしくは「完成図」を参考に各パーツを貼り合わせて、作成してください。



9. 完成図。

※余白にメッセージなどを入れることができます。